

兵庫県内で『災害研修プログラムDT - H』を実施しました！

日 時：2015年8月18日(火)と8月21日(金) 13:30~17:00

場 所：生田文化会館(神戸市)

参加者：兵庫県立13病院の事務系職員(災害医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、尼崎総合医療センター、姫路循環器病センター、柏原病院、光風病院、こども病院、がんセンター、リハビリテーション中央病院、リハビリテーション西播磨病院、粒子線医療センター)

ファシリテーター：建築学科生9名+大学院生1名 薬学部学生2名(合計12名)

今回の見どころ

兵庫県立の計13病院の事務職員を対象に、2日間にわたり、摂南大学生がファシリテーターとなる病院災害研修プログラム改良版DT-Hを実施しました。DT-Hとは、地震後に発生する医療行為以外の出来事を記載したカードに対し、対応を考える図上訓練型災害研修プログラムです。今回のプログラムでは兵庫県病院局及び兵庫県立災害医療センターと連携し、1日目に計6病院(災害拠点病院以外の病院群)と、2日目に計7病院(災害拠点病院群)が各病院の図面を用いて研修しました。

プログラム実施風景



はじめに、過去の病院の被害事例、研修のルール及び条件を説明しました。



プログラム開始です。皆さん真剣に意見を出し合いカードの事例に対応されてました。



対応したカードの結果を基に病院内で災害が起きた時に、どのような事が起こるのか考えました。



病院ごとに発表を行いました。カードの対応に困ったことや、災害が起きた時に想定出来る事の意見や内容を共有しました。

プログラムの実施結果

災害研修実施前は、リハーサル通りにタイムコントロールができるか、またプログラムのルールと条件をしっかりと伝えられるかなど不安な面もありました。しかし、始まると、参加者の病院職員の皆様が、積極的にチーム内で役割分担してくださり、無事、進行できたと思います。「院内の災害対策として何が出来るか」の話合いでは、「災害時マニュアルを見直し具体化する」、「院内設備への理解を深める」との意見もありました。

今回のプログラムに参加して頂いた兵庫県立13病院(災害医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、尼崎総合医療センター、姫路循環器病センター、柏原病院、光風病院、こども病院、がんセンター、リハビリテーション中央病院、リハビリテーション西播磨病院、粒子線医療センター)の事務職員の皆様ありがとうございました。また今回のプログラムの実施にあたり、兵庫県病院局と兵庫県立災害医療センターには準備段階から多大なるご協力を頂きました。ここにお礼申し上げます。